

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-268425

(43)Date of publication of application : 09.10.1998

(51)Int.Cl.

G03B 21/20

G03B 33/12

(21)Application number : 08-276388

(71)Applicant : SANYO ELECTRIC CO LTD

(22)Date of filing : 18.10.1996

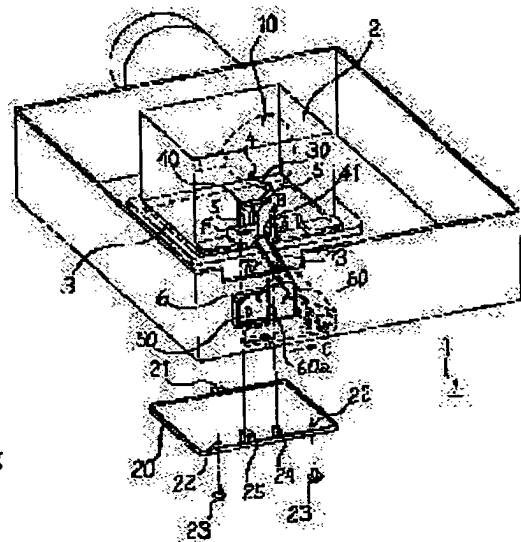
(72)Inventor : OKADA HISASHI
FUJIWARA KOICHI
MATSUBARA HIDEKI

(54) INTERLOCKING MECHANISM FOR LIQUID CRYSTAL VIDEO PROJECTION DEVICE

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an interlocking mechanism for a liquid crystal video projection device capable of automatically preventing danger at the time of exchanging a light source lamp.

SOLUTION: The interlocking mechanism is provided with a cover 20 for covering an opening 3 through which a lamp holder is inserted/removed, a locking lever 40 moved by the pressing of a projection 24 formed on the cover, at the time of executing covering by the cover 20, an interlocking lever 60 moved to open/close, for covering at least a part of the port for applying a power source 6 of a device which is opened in one surface part of the liquid crystal video projection device 1, a turning lever 70 engaged with the interlocking lever 60, to convert its opening/closing movements into turning movements and an AC inlet 50 arranged to face the port for applying the power source 6, in the rear of the interlocking lever 60. The opening/closing movements of the interlocking lever 60 for connecting a power code to the AC inlet 50 are permitted by the movement of the locking lever 40 with the attachment of the cover 20.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 25.01.2000

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 3234508

[Date of registration] 21.09.2001

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

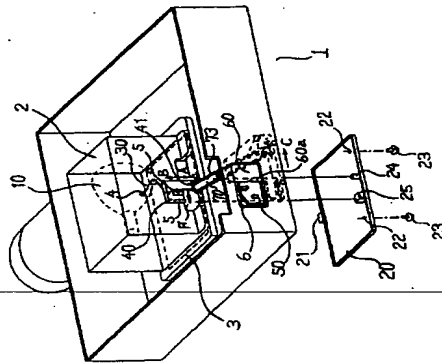
[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

(51) 出願人 G O 3 B 21/20 33/12	特許第3-276388 平成8年(1996)10月18日	(21) 出願番号 (22) 出願日	P I G O 3 B 21/20 33/12	審定請求 未請求 解決項の第1 O L (全5頁)	000001889 三洋電機株式会社 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 岡田 久司 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三 洋電機株式会社内 藤原 弘一 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三 洋電機株式会社内 松原 秀樹 大阪府守口市京阪本通2丁目5番5号 三 洋電機株式会社内 伊達士 安富 新一 (外1名)
------------------------------------	---------------------------------	-----------------------	-------------------------------	------------------------------	---

(54) 【発明の名称】 液晶ビデオプロジェクトション装置のインターロック機構

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 光源用ランプを交換する際の危険性を自動的に防止できる液晶ビデオプロジェクション装置のインタロック機構を提案する。

[illegible]

【特許請求の範囲】

【講求項目】 光源からの光を赤、緑、青、の各色光に分解し、分解された色光をそれぞれの透過型液晶パネルに透過すると共にダイクロイックプリズムにより合成されたカラー画像をスクリーン上に拡大投影する。湖島ビデオプロジェクション装置において、

[illegible]

前記基板の取着に伴う面圧ロックレバーの移動によって、前記ACインレットに電源コードを接続するべく前記足元インターロックレバーの開閉移動が許容されることを特徴とする液晶ビデオプロジェクション装置のインターロック機構。

【発明の詳細な説明】

10001 Y
10001 Y
10001 Y

【発明の属する技術分野】本発明は、光源用ランプを交差する際の安全性を高めるカラー液晶プロジェクト型ディスプレイに関する。

100021

【従来の技術】近年、光源からの光を赤、緑、青、の各色に分解し、分解された色光をそれぞれの透過型液晶パネルに透過すると共にダイクロイックプリズムにより合成し、合成されたカラー画像をスクリーン上に拡大投影形成する液晶ビデオプロジェクション装置が用いられている。

【0003】そして、液晶ビデオプロジェクト型装置においては、透過型の液晶パネルにより多くの光を透過させるため、光源にメタルハライドランプのような高発光の投射用ランプが使用される。

(0004) この放射用ランプは、大電力を使用すると共に、その発光時には高い熱を発生する。また、放射用ランプは、寿命も長くないことから、使用した範囲に応じて放射用ランプを交換する必要がある。そして、放射用ランプを交換するときは、通常、放射用ランプをオフ操作して、所定時間放熱して放射用ランプが冷却するのを待って交換する。

【0005】しかし、作業者によっては、ランプ交換を
経験若しくは慣れに頼り、投射用ランプの放熱が十分に
ない状態で高温の投射用ランプに手を触れることもあ
り、このため火傷等の事故を起している。

【00006】そのような事故を防止する安全機構として

0
1
2
3
4
5
6
7
8
9
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
M
N
O
P
Q
R
S
T
U
V
W
X
Y
Z

を認め、この通知書を行う判定手段を設け、この判定手段を越えれば否かの判定することと判定すると、税利用用ラングを認め、税利用用ラングのラングに温度を特定する

【0007】また、使用用ランプは、上記した如くその交換作業が火傷等の危険を伴うため、適宜はランプホルダに取替えると共にこのランプホルダと交換するようにし、このランプホルダは絶縁の背面若しくは前面に取替用のスリットを設ける。そして、ランプホルダのランプの裏面スリットを設ける。そして、ランプホルダの交換に際しては、予め絶縁の電源、とりわけ使用用ランプの電源として使用用ランプが格納されたランプの電源をランプホルダ操作して使用用ランプから移動させて作業者の位置に移動させて作業者の手元とした。

【0008】しかし、この場合においても、電源をオフ
操作することを怠ったり忘れた状態でランボルダの交
換がなされると、大きな事故を誘発しかねないといっ
た恐れがあった。

「0008」そこで、従来より、装填の電源コードをAコネクタから抜くなどして、作業者が誤用ランプレポートの電源を確保に安全な状態にすることが必要となることが明らかとなり、その構造を開発することが必要となり、

【発明が解決しようとする課題】この発明は、上記した従来の課題を解決するもので、被射用ランプを収容させたランプホルダと電源コードとを接続する際に、被射用ランプホルダと電源コードとを確実に接続すること、かつ、電源コードを被射用ランプホルダに確実に接続すること、が課題である。

111001

【課題】を解決するための手段）上記課題を解決するため、本発明は、筐体20が取替されている筐体状態のとき、回転レバー70の導部73とロックレバー40の溝42との係合が解除され、電源投入口80の閉鎖動作による、回転レバー40の移動が容易になる。これにより、ランプホルダを交換する際の電源コードのA/Cインレット50への抜き差しが可能になる。すなわち、インレット50への抜き差しによって回転レバー40がロックレバー60は、その間移動によって回転レバー70を筐体20の停止25に保持して筐体20の開口部が閉鎖され、その回転レバー20の開口部が閉鎖される。

ВВЕДЕНИЕ

